



## 日整「匠の技」技術講習会 第102回会員研修会

8月25日(日)日整「匠の技」技術講習会(「匠の技 伝承プロジェクト」-コーレス骨折編-)・第102回会員研修会が本会会館3階講堂にて行われた。

「橈骨遠位端骨折の説明」の後、「合同実習と観察法評価」として、触診の確認やエコー(超音波画像観察装置)のプロープの持ち方や抽出時の決まり事などの説明があった後、班ごとに分かれて、実際にエコーを使って、橈骨下端部の観察を行った。



その後、整復法・固定法の座学において、種々の固定具の紹介が行われた後、一人整復法及び固定法の実演と参加者による実習が行われ、森川 伸治会長も会員に骨折による変形をどう整復するのか両手を使って説明しながら整復法を実演し指導した。



## 訪問型サービスC研修会 第103回会員研修会 森川 梢先生

8月25日(日)、前回に引き続き【短期集中予防型訪問サービスC】に参入を希望する会員を対象とした第2回目の介護研修会及び第103回会員研修会が本会会館3階講堂にて執り行われた。

冒頭、森川 伸治会長の挨拶では、「8月2日に名古屋市の担当者にご来館いただき、正式に短期集中予防型訪問サービスCの協定を締結した。将来的には全ての要介護度の訪問事業に参入すべく足場固めとして、まずは事業対象者と要支援1・2を対象としたサービスの開始に漕ぎ着けることができた。今後は会員のご協力を得ながら各市町村で広めていき、しっかりと育てていきたいと考えている」と述べられた。

講師には、秋田大学大学院医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座帝京大学グループ(帝京大学、帝京平成大学)柔道整復学科 公衆衛生学、精神保健学領域 非常勤講師の森川 梢先生をお招きし、「ひきこもりに関する現状と対応」と題し、ひきこもりの定義や現状、訪問型サービス介入の重要性と柔道整復師の役割などについてご講演いただいた。

続いて倉橋 健司介護部長からは、前回の研修会の内容の一部訂正と、実際の訪問時の体力測定や基本チェックリスト作成方法、サービスの流れなどが説明され、竹内 健二刈谷支部長による一部体操の実演があり閉会となった。(広報部)

## 新入会員紹介

氏名	支部	接骨院名
廣田 捺未	一宮	だいきち接骨院 (勤務柔道整復師)



## 第21回柔整師杯東海少年柔道大会 第14回東海少年柔道「形」競技会

9月8日(日)三重武道館サオリーナ(三重県津市)において第21回柔整師杯東海少年柔道大会及び第14回東海少年柔道形競技会が、公益社団法人日本柔道整復師会 東海ブロック会主催、東海柔道連合会、三重県柔道協会、三重県、中日新聞社の後援により開催された。

開会式の後、形競技会から開催され、6月30日(日)開催された本会大会にて優勝した半田支部 取:花田 義治(半田少年柔道教室)、受:村松 葵羽(半田少年柔道教室)、監督 月野 義明6段が愛知県代表として参加し、優勝した。



形競技会終了後、第21回柔整師杯東海少年柔道大会が開催され、本会から審判員として石田 雅明7段、相羽 秀昭6段(ともにAライセンス審判員)が参加した。

選抜団体戦は、先鋒4年生(女子)大野 陽菜(六郷道場)・次鋒5年生(女子)長谷川 琴葉乃(瀬戸陶原道場)・中堅5年生(男子)見田 輝(六郷道場)・副将6年生(男子)花田 義治(半田少年柔道教室)・大将6年生(男子)太田 龍誠(大石道場)・監督中村 太7段、コーチ下山 徳大4段で参加し、第4位と入賞を逃した。

女子3人制団体戦は、先鋒4年生 花田 結菜(半田少年柔道教室)、中堅5年生 榎本 明佳里(東海少年柔道教室)、大将6年生 安江 美乃(羽田野道場)、監督 夫馬 喜久治7段、コーチ下山 徳大4段が参加し、第2位となった。

優秀選手には、先鋒4年生 花田 結菜 選手(半田少年柔道教室)が選出された。(柔道部長 中村 太)